

3 適切な支援で子どもに「できる」喜びを

子どもが、楽しく生き生きと生活を送るためには、得意なことや苦手なことに気づき、その特性をよく理解しながら、適切に支援することが大切です。そのためには、家庭での早めの気づきが大切になります。

早めの気づき

遊びの場面

- 一人で遊ぶことが多い。
 - ・ 自分の思いを伝えることが苦手である。
- 友達とすぐに、けんかになってしまう。
 - ・ 順番を待つことが難しい。
 - ・ 友達の持ち物を欲しがる。
 - ・ 冗談が通じない。 など

学習の場面

- 忘れ物が多い。片付けが苦手である。
- 着席することが苦手で、離席することが多い。
- 計算はできるが、文章を読むことが難しい。
- 動きがぎこちない。 など

生活の場面

- 思ったことを、そのまま言葉にして話してしまう。
- 注意されても、同じことを繰り返してしまう。
- こだわりがあることから、スムーズに行動することが難しい。 など

子育てで少しでも気になることがありましたら、幼稚園・保育所や小中学校、特別支援学校、最寄りの相談機関へ御相談ください。(P23, P28参照)

支援のポイント

子どもは、生活の中の「ちょっと気になる行動」のために、自信や意欲が低下することがあります。関わり方を少し工夫することで改善され、「できる」喜びを味わうことができます。

称賛と具体的な指示の必要性

- 具体的で分かりやすい指示や説明をしましょう。
- 子どもの努力をまず認め、褒めましょう。

環境整備の必要性

- 活動に集中できるような環境をつくりましょう。
- 見て分かる具体的な手掛かりを準備しましょう。

見通しの必要性

- どこまでやればよいのかを分かりやすく示しましょう。
- スケジュールの変更は、分かりやすく伝えましょう。

お子さんの自己肯定感を高めるには、早めの気づきと「頑張ったね」の称賛が大切です!!

教えて! Q&A

Q 子どもの可能性や能力を伸ばすためには、どんなことが大切ですか?

- A
- ① 日常生活や学習をする上で、どんなことに困難があるかを整理しましょう。
 - ② その困難さに対して、どのような支援がどの程度必要かを考えてみましょう。
 - ③ 「好きな活動や遊び、意欲的に取り組んでいることは何か？」を具体的にあげてみましょう。
 - ④ 気持ちを表現することや集団の中の他者との関わりの様子を観察してみましょう。

【「就学相談・支援の手引き」(平成27年3月)鹿児島県教育委員会より】



詳細は、鹿児島県教育委員会 Web ページ (<https://www.pref.kagoshima.jp/kyoiku/>) から。

県教委トップページ → 学校教育 → 特別支援教育 【特別支援に関する情報があります。】